



大法輪閣

大法輪

昭和9年～令和2年7月全1,014冊



1934年（昭和9年）創刊の月刊仏教総合雑誌『大法輪』では、毎号さまざまな視点で、特定の宗派にかたよらず「仏教」を紹介してきました。専門的な内容から法話・講話をはじめ、初めて仏教を学ぶ方のための入門的内容を幅広く掲載。仏教に関心がある方に、ぜひ読んでいただきたい雑誌です。令和2年7月号を最後に休刊しましたが、現代人の心のよりどころとして、その価値は色あせることはありません。

販売対象機関：すべての機関

SalesID	セット名称	「同時アクセス数1」 の販売価格(本体価)	「同時アクセス数3」 の販売価格(本体価)
KS00001745	大法輪全巻セット (昭和9年～令和2年7月1014冊セット3%disc)	¥1,931,277	¥2,903,027
KS00001867	大法輪【昭和前期(昭和9年～昭和37年)】 セット (5.12%disc)	¥667,000	¥1,000,500
KS00001897	大法輪【昭和後期(昭和38年～63年)】セット (4.21%disc)	¥598,000	¥897,000
KS00001924	大法輪【平成期(平成元年～29年)】セット (4.34%disc)	¥666,072	¥999,108
KS00001955	大法輪【平成31年/令和元年】セット (4.34%disc)	¥22,968	¥34,452
KS00001956	大法輪【令和2年】セット (0.04%disc)	¥14,000	¥27,300

各年ごとのセットもございます。1号ごとの販売もいたします。下記タイトルリストをご参照ください。

タイトルリストは

https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0994_list.xlsx



紀伊國屋書店

デジタル情報営業部 ict_ebook@kinokuniya.co.jp
TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359



日本大藏經



全48卷セット (5%disc)

KS00001958

同時アクセス数1: ¥1,214,028 / 同時アクセス数3: ¥1,821,043



大正3年から大正10年にかけて刊行された本書は、祖師・高僧・碩学などの著作と各宗の基本的文献、総計722部、1,954巻を収めた日本仏教の研究上、必要不可欠な文献の集大成。当時、寺社や蔵書家に秘蔵され、容易に近づき難かった稀覯本をはじめ他の叢書にない修験道関係の貴重な秘伝・秘書類を多数収録。明治45年～11年に刊行された姉妹叢書ともいえる『大日本佛教全書』が高僧・名僧の著作、寺誌などの歴史関係書、稀覯本の類を集めているのに対し、本書は教理面に重点を置いている。

価格は本体価格。各巻毎の分売可。販売対象機関：すべての機関

版面例

<p>華嚴經品釋 六十卷本</p> <p>東大寺沙門 凝然 述</p> <p>大方廣佛華嚴經世間淨眼品第一</p> <p>將釋此品可有三門初大意者凡今經者集海會之盛談照山王之極說理致宏遠盡其源於法界文旨浩汗被嘉會於塵網一多即入深隔礙之相念初圓融離局限互事因陀羅網參互影而重重鏡光顯照塵方而隱隱金剛種子三生證究竟之果寶網轉輪現身入圓極之位是輪一光忽振五無間之報豈掌少水頓成六欲天之果讀諸書寫則獲盡法界之德講說思惟則證遍劫海之益是廣大普周之教法甚深微密之宗旨可知就中當品所說相者五六成就為證信儀式十八震動為發起之狀貌寂滅道場之砌示華嚴世界之飾始成正覺之應願毗盧遮那之莊十利應數衆海前後圍繞三世常恒眷屬左</p> <p>如此然於當品科段者如是我聞一句為證信一時以下四種成就為通二序六種十八相震動已下為唯發起通二序中說時是第二七日該通過未無量劫海教主是三世間身十佛舍那周遍法界三十四類是嘉會聽衆一十八衆是供養圓滿欲界六重之天本具如來所得之高山淨刹十地之人性遊著遊所證之大海佛德圓滿非他以衆海所得為佛德衆相顯現無外分如來功德自德師子寶座涌現十地等覺之內衆剎應世界運出一切衆珍之外供伎樂歌詠之普遍空界而無際衆寶莊嚴之光滿塵國而不窮此則七處八會之總瑞十方十際之通祥普法圓明之奇表鎔融交徹之嘉相也</p> <p>盧舍那品第二</p> <p>將釋此品可有三門初來意者教起由致前品已終正宗妙義事須陳說是故此品次前而來</p> <p>次題目者總題如前至別目者盧舍那者是印度語此云光明遍照智光明朗照真俗故身光赫奕耀世</p> <p>界故</p> <p>第三入文解釋者當品之中總為二分初大眾疑請分後爾時世尊下如來現答分此中有十段一面光集衆分乃至十正陳法界分也然則海會大眾致念請於三十五句法門教主世尊放於面光於十佛刹應國土十方大士集會而演說乘普賢菩薩入三昧而證法體諸佛加被示同說之儀大眾啓請願慈之志定中略說是滋海之水深澄出定廣陳乃演法之波高勝如來藏身之姿施應出於十方五海十智之勢垂利潤於三世十世界海開諸佛所得之果形體因緣陳衆聖常恒之洪規風輪重疊持無盡之莊嚴香海湛然生廣大之蓮花香幢華臺等法界之量金剛圍山繞珍臺之邊花香幢華臺等法界之淨土上下行布佛佛各居說微妙之法事聖並持施在運之用十二佛國備衆德而觀七世界性間諸門而蕩蕩須彌世界依華嚴安住維摩國土託本界而峙立帝網重重明珠而歷焉鏡光隱隱懸寶</p>	<p>右坐烈四下界同生異生別遠方之雲而來風神河神凌利海之波而集四衆八部連袂各主含那之德六欲四禪翻袖互顯正覺之形三十二類皆運開法之德一十八衆俱抽供佛之誠主伴圓備盡廣大之嘉會依正鎔融自在之祥瑞此即當品布置大意也</p> <p>大釋題目者大方廣等之字一部之都名世間淨眼等七言當品之別目也當體包含名大德相軌範為方業用普通是廣覺照果滿即佛萬行因華威十身之果名為華嚴八會玄文證四界之義名之為經器生智覺照離昏闇名世間淨眼格類相從名品諸數之首次烈無滯名為第一是故總名大方廣佛華嚴經世間淨眼品第一</p> <p>第三入文解釋者先總分別一部文段此經六十卷有三十四品或三段五分或五周因果勢變多端不可一例且依三段顯文起盡初之一品名為序分盧舍那品下是正宗分流通有無解釋非一旦以來後二偶為流通分此據有流通之義故子段雖繁大概</p>
--	---